

大相撲地方巡業大村場所の誘致について

山口 弘宣 議員



市制施行75周年の記念行事は大々的に行われたいとのことであるが、相撲協会が計画している大相撲地方巡業大村場所の実施に向けて、全面的な支援をお願いできるのか。また、現在西大村小学校にある相撲場の土俵に屋根がない状況であるため、早急に屋根の設置を要望するがどうか。

A 大相撲地方巡業大村場所については、平成29年12月3日にシーハットおおむらで開催予定となっている。今後は、大村市相撲協会を中心に、市や関係団体と実行委員会を組織し、広報やチケット販売、物販など可能な限りバックアップしたい。また、西大村小学校の相撲場については、屋根を少しでも早く設置できないか、検討を行っている。

かんさく会館について

山口 弘宣 議員



かんさく会館は、地縁団体であるかんさく会が建物を登記してお

り、同会の所有物であるため、維持管理については、三浦地区と行政側双方に苦悩があるものと思われる。住民主導型地域活性化事業が見直されている中、次年度以降のかんさく会館の維持管理費の助成について、どのような姿勢で臨まれるのか尋ねる。

A かんさく会館の維持管理については、住民主導型地域活性化事業を活用されているが、次年度以降、本事業がどのようなものになるか現時点でははっきりと定まっていない。同会館については、大きな規模で運営されていること、地元の方が苦慮されていることは理解しているため、今後も地元の方と十分協議を続け、よい対処方法を考えていきたい。

全職員への人事評価制度の導入について

城 幸太郎 議員



職員の仕事に対するやる気を保ち、さらに人材育成の面でも全職員を対象とした人事評価

制度は必要不可欠である。さらに、公平・公正な制度とするためには、上司が部下を評価するだけではなく、部下による上司の評価や同僚間の評価を実施することが大事で

あり、上下左右、複数の人が評価できる360度評価を提案しているが、導入の進捗状況を尋ねる。

A 人事評価における360度評価については、現在実施している人事評価制度が試行段階から実施に入ったばかりであるため、まずは、現在の制度を効果的、有意義なものとして、定着させた上で、検討したい。

町内会加入への促進、職員の加入率について

城 幸太郎 議員



町内会加入率については、20年間で10ポイント低下し、現在約79%である。町内会加入率

の向上は子供会や老人会の加入につながり、市民力のアップに貢献すると考える。3、4月の転入者が増える時期に、市民課窓口で加入促進を強化すべきである。また、市職員の加入率は約97%であるが、まだ未加入者がいる。加入は任意であるが、率先して加入し、町内会運営に協力すべきである。

A 市民課窓口における町内会加入促進については、転入時に町内会名、会長名、連絡先を記載したものを毎回お渡しするよ

うにする。また、市職員の町内会加入率については、ここ数年九十六、七%であり、限界にきているものと思われるが、さらなる加入のため、いろんな場面で働きかけたい。

契約行政について

朝長 英美 議員



大型工事において、分離・分割発注とすることは可能なのか。また、土木一式工事の一般競争入札での数十者にものぼる応札者数は多すぎるのではないか。

A 市が計画する大型事業については、市内建設業者が受注できるように可能な限り分離・分割発注に努めている。また、平成29年度から、元請として農林及び公共土木施設災害復旧工事を完成させた業者に対して、社会貢献活動として評価し、主観点への加算を検討している。また、応札者数については、平成29年度からは主観点を入札参加条件に加えることにより、適正な数となるよう入札制度を改善したい。

